

豊橋総合動植物公園にぎわい空間創造事業（仮称） 資料 1

1. 事業候補地

<西門およびその周辺>

昭和 45 年に建設された西門（改札事務所、軽飲食売店、休憩所）は老朽化が進んでおり再整備の対象となっている。

西門のゲートから大沢池までは緩やかな地形が幾重にも重なった先に、池の水面が顔を覗かせる気持ちのよい景観が広がっている。また、池の対岸ではアジアゾウの獣舎および放飼場を拡張整備しており、完成後（H32.3 月予定）は広大な放飼場でゾウが水浴びをする姿が見られる本園を代表する名所となる。

資料館は現状では集客効果の薄い剥製展示施設となっており老朽化も進んでいるが、対岸のゾウ舎が見下ろせる高台に位置するため、今後景観的付加価値の高い場所となる。

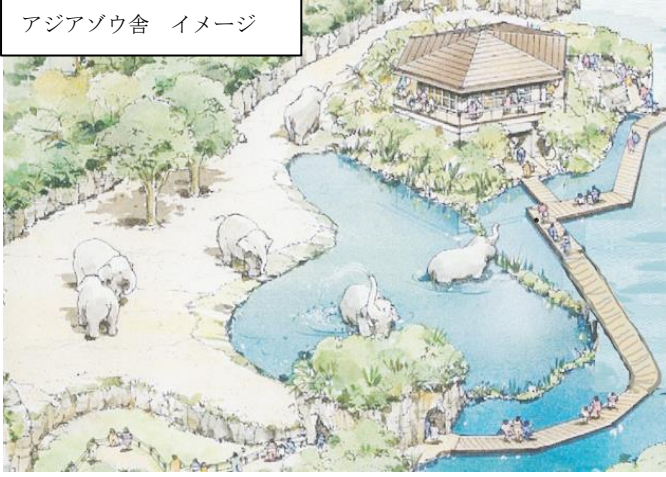
今回の整備エリアとしては建て替えを検討している西門施設から資料館を含めた大沢池護岸までを含めた一帯を対象とする。

2. 事業提案・アイデア

事業としては公有地活用として資料館を改修あるいは取り壊して収益施設のみを整備する事業、または西門を改修して公共部分と収益部分を兼ね備えた施設を整備する P-PFI 事業、若しくはその両方などあらゆる可能性についてアイデアをいただきたい。



アジアゾウ舎 イメージ



①



②



③



④



⑤

